

一般社団法人いわき観光まちづくりビューロー

令和3年度 事業計画

事業方針

新型コロナウイルス感染症拡大により、様々な規制や自粛による厳しい経済環境のなか、観光を取り巻く環境においても旅行自粛や「新たな生活様式」の普及による旅スタイルの変化など、「安全・安心」を基盤とする観光業は、劇的に変化を余儀なくされている。

そのような中、昨年度は「持続化給付金」や「GoTo キャンペーン」、「県民割」・「市民割」・「お宿にエール」などの事業を通して何とか急場を凌いできた状況にある。

本年度においても、引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策や新たな生活様式を踏まえて、会員各位の英知を結集し、デジタル化を推進しながらリアルな観光を通じた「感動」の提供を探求し、各種事業に取り組みたい。

重点事業

令和2年度に実施したデジタルマーケティングの専門家派遣を受け、学んだ分析手法を用いて、令和3年度には、ターゲットを絞った各種事業の展開に取り組む。

1 観光客・物産事業者のために 【ビジョン：地場製品の活用】

(1) ネット販売強化事業【1,524千円】【Ⅲ-2、I-1-(2)】

- 担当：地域・物産振興部会（事業者）
- 実施時期：令和2年度中に商品化したものを、GW、お中元、お歳暮時期に合わせてキャンペーンを実施
- 実施内容：
 - ・ネット販売強化、YouTube等動画サイトの活用、ジャンル別・季節別の送料無料キャンペーン、AR（拡張現実）を活用したスタンプラリーや販売促進

(2) 産品認知度向上事業【3,450千円】【Ⅲ-2-(1)(2)】

- 担当：地域・物産振興部会（事業者）
- 実施時期：10月頃開催
- 実施内容：
 - ・産品認知度向上事業
 - ・新型コロナウイルス感染症の防止策を講じ、テーマを持った物産展の開催
 - ・ギフト商品やいわき産品の認知度向上

2 観光客・観光事業者のために 【ビジョン：テーマ別観光】

(1) テーマ別観光推進事業【1,370千円】【Ⅱ-2-(1)(2)(3)、Ⅱ-3-(1)(2)(3)】

- 担当：観光・誘客推進部会（関係団体）
- 実施時期：4月～9月開催の「東北DC」に合わせて商品販売
- 実施内容：
 - ・東北DCや東京オリンピック・パラリンピックに併せた商品販売
 - 震災やヘリテージをテーマとしたスタディツアー、いわき聖地観光（レイライン）の商品化によりOTAなどで販売、サイクルツーリズム（プロモーション）、みちのく潮風トレイル延伸に向けたコース設定等

(2) 着地型ツーリズムコンテンツ造成支援事業【1,327千円】【Ⅱ-2-(1)(3)】

- 担 当：観光・誘客推進部会（市内旅行業者）
- 実施時期：通年でツアー等を対象
- 実施内容：
 - ・地域の歴史・文化遺産をはじめ、スタディツアー、いわき聖地観光や、遊覧船の復活による地域資源を活用した着地型ツアーの商品造成を依頼
 - ・東北DCや東京オリンピック・パラリンピック、マイクロツーリズム需要に対応したツアー造成により、GoToトラベル終了後の需要の取り込み対策
 - ・コロナ禍、アフターコロナにおけるオンラインツアーコンテンツの造成
 - ・市内の旅行業者に対する助成を想定

(3) マイクロツーリズム推進事業【1,849千円】【Ⅱ-2-(1)(3)、Ⅱ-3-(1)(2)(3)】

- 担 当：観光・誘客推進部会（地域団体）
- 実施時期：夏休み・秋口にそれぞれ商品化
- 実施内容：
 - ・マイクロツーリズムの推進（市内、県内、近隣県）、いわきはじめて巡り（地域主体のまち歩き）、JR各駅・SA・道の駅（近隣県）へのプロモーション（ポスター掲出）、ARを活用したデジタルスタンプラリー

3 観光客・飲食店・土産品事業者のために 【ビジョン：デジタルマーケティング】

(1) Google等を活用したPR事業【2,850千円】【Ⅰ-1-(1)(2)(3)】

- 担 当：地域・情報戦略部会（事業者）
- 実施時期：5月まで参加店募集、以降運用開始
- 実施内容：
 - ・東北DCや東京オリンピック・パラリンピック競技大会期間中にGoogleを活用したPR事業、いわき市観光デジタルマーケティング事業、Googleマップ、トリップアドバイザー情報整備事業

4 観光客のために 【ビジョン：受入環境の整備】

(1) 観光ガイドの育成【815千円】【Ⅲ-5-(3)】

- 担 当：地域・情報戦略部会（市民、関係団体）
- 実施時期：秋季頃「地域学検定」開催し、検定終了後、観光ガイドとして活用
- 実施内容：
 - いわき地域学会との連携によるツアーや各施設、スポット等での活用を目指す観光ガイドの育成

基本事業

【新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策を講じながら事業に取り組む】

I 公益事業

いわき市石炭・化石館における企画展・イベントの開催による誘客事業

【13,000千円】(公益目的支出計画による支出)【Ⅲ-3-(3)】

常磐炭田史研究会やいわきヘリテージツーリズム協議会、地元各種団体やボランティア等との連携を図り、魅力ある企画展等の開催に努め、地域振興を推進する。

1 企画展

(1) 続・炭鉱とスポーツ

○ 開催期間：4/24(土)～7/4(日)

○ 内容

東京2020オリンピック競技大会の開催に合わせ、常磐炭礦野球部や駅伝等の他のスポーツ、いわきに残るスポーツ関係遺構(内郷のプール・弓道場、相撲場)も掘り下げること野球以外の炭鉱とスポーツのかかわりを展示・解説

(2) 彼らは何を食べて生きていたのか～喰うもの喰われるもの～

○ 開催期間：7/17(土)～8/31(火)

○ 内容

古代生物の化石の中にも喰うもの喰われるもの関係を残したものがあり、化石資料の中から太古の食物連鎖の関係を展示・解説

(3) 恐竜トリックアート展

○ 開催期間：12/18(土)～2/27(日)

○ 内容

トリックアートを活用し、古生物たちと一緒に臨場感のある写真を撮影することで、古生物の魅力に楽しく触れるとともに、SNS等の活用による集客も図る展示

2 イベント

(1) ほるるさくらまつり

○ 開催期間：4/11(日)

○ 内容

地元中学校や小学校、湯本商店会などに協力頂き、さくらにちなんだ鼓笛や吹奏楽等の演奏会ほか、会員、地元商店街による物産展等を実施。

※新型コロナウイルス感染症拡大により演奏会等中止し、縮小して実施

(2) ミュージアム★ナイト 2021 ※東北 DC 特別企画

○ 開催期間：8/21(土)・22(日)

○ 内容

館内の照明を落とし館内を懐中電灯で見学・探検気分を味わえる内容のほか、新たな魅力付けのためロボット恐竜を設置し誘客に努め内容

(3) Xmas&ミュージアム★ナイト 2021

○ 開催期間：12/11(土)・12(日)

○ 内容

クリスマスにちなんだ楽しめるイベント内容に合わせ、館内の照明を落とすミュージアムナイトも開催し誘客に努める内容

II その他事業（地域活性化事業）

本年度は、家族連れをメインターゲットに近隣県（茨城、宮城、山形、県内）さらには、東北 DC を契機に東北からの誘客を実施する。

また、新型コロナウイルス感染症の収束状況を見据えながら、本市の最大マーケットである首都圏からの誘客やインバウンド対策を実施する。

1 地域・情報戦略部会

(1) 観光誘客キービジュアル作成事業【5,526 千円】

【ビジョン：I-5 多様な媒体を活用した情報発信】

HP・動画・パンフレット・ポスター作成等による発信

- HP（いわき市観光サイト、石炭・化石館 HP、常磐もの HP、各種 SNS の運営）
- いわき市の魅力を様々な観点で発信する為に、観光 PR 動画を募集し、発信に活用
- 紙媒体である観光ガイドパンフレット、ルートマップ、ポスターの作成

(2) デジタルマーケティング事業※再掲

【2,910 千円】【ビジョン：I-1 デジタルマーケティングの推進・強化】

アンケート、デジタル広告を活用したマーケティング

- デジタル広告の推進による各コンテンツにおけるターゲットの選定。
- 継続したいわきへの「観光動向」のデータを収集する。
 - ・令和 2 年度は、「来訪意欲（見込み客）」のエリアやコンテンツを調査

2 観光・誘客推進部会

(1) 観光誘客プロモーション事業【3,508 千円】

【ビジョン：II-3 広域連携ルートの構築/II-5 訪日外国人旅行者の誘客】

情報発信、広域連携、インバウンド等外向け PR

- 広域連携（震災学習や「震災 10 年」をテーマに防災・減災の意識向上と新たな取り組みを示す
- 「東北 DC」における誘客施策（いわき観光共同キャンペーン事業との連携）
 - ・国宝・白水阿弥陀堂アミダナイト事業の展開
 - ・アニメを活用した事業展開
 - アニメ映画「フラ・フラダンス」を題材としたアニメの聖地化事業としてロケ地 MAP の作成や主人公パネルの作成
- インバウンド向けコンテンツのプロモーション
 - ・いわき聖地観光(レイライン)

(2) 着地型観光マネジメント事業【856 千円】

【ビジョン：II-2 テーマ別観光の推進/II-4 教育旅行・合宿や MICE の誘致】

テーマ別観光、教育旅行の推進、コンテンツ造成

- テーマ別観光（フラ、季節の花、体験、海・山岳、ロケ地巡り等）の商品化
- 県と連携した教育旅行の誘致活動の実施（栃木・茨城を重点に）
- その他（ワーケーション等）

3 地域・物産振興部会

物産販路拡大プロモーション事業【9,649 千円】

【ビジョン：III-2 地場製品の活用】

地場製品活用、情報発信、物産展、EC サイト

- 各種物産展への参加による知名度アップ
- いわき大物産展の開催
- ほるる売店を活用した旬のフェア開催
- 朝市の定期開催

4 いわき市石炭・化石館運営検討委員会

【(公益事業：13,000 千円) (管理運営委託事業：84,931 千円)】

【ビジョン：Ⅲ-3 歴史・文化・芸術の活用】

安全な館の運営に努め、定期的かつ誘客につながる企画展やイベントの開催、受け入れ態勢強化として学芸員による展示物等の解説、教育旅行等の積極的な誘致を行い、より一層の魅力アップと情報発信※企画展・イベントは公益事業に記載

5 受託事業

- (1) 観光誘客促進事業(いわき市総合観光案内所運営、海開き式典開催、いわきおどり運営)
(市観光交流課：21,031 千円)
- (2) フィルム・コミッション推進事業業務(市観光事業課：2,461 千円)
- (3) いわき産水産物風評被害対策事業「常磐もの」認知度向上及び販売促進業務
(市水産課：13,505 千円)
- (4) 海の魅力！いわき浜っ子総合学園事業「さわってみよう！はじめてのおさかな教室」
(市水産課：495 千円)
- (5) いわき市木づかい住宅ポイント事業交換商品取扱等業務(市林務課：13,129 千円)
- (6) その他、国(観光庁、文化庁等)におけるDMO向け事業に申請し取り組む

6 他団体との連携

- (1) いわき観光共同キャンペーン実行委員会
- (2) いわきフィルム・コミッション協議会
- (3) アニメ映画「フラ・フラダンス」を応援する会